

(様式2(1))

事業所名 アクティブライフ 神戸

作成日: 平成 26 年 7 月 20 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	4	運営推進会議においては、定期的の実施しあらゆる問題について話し合いの場を設けている。施設からはGH管理者、リーダー、施設長、主任等が参加、地域からは包括職員、民生委員、知見者、ご家族代表が参加している。利用者は認知症である事から参加への積極的な働きかけはしていない。ご家族に対しては、遠方の方も多く毎回代表の方をお願いをして参加して頂いている。	より多くの家族が参加し率直な意見を出し合い事業所の運営に関われるようにする。利用者に対しては参加方法などを工夫し、同席して頂く。	家族に対しては、運営推進会議の意義や活動内容を伝え理解を深め、毎月のお便りや会議開催に合わせて参加のお願いを継続していく。利用者の参加に対しては、ご本人が混乱されないように配慮しながら短時間でも参加して頂けるような工夫を行い促進していく。	8ヶ月 (平成26年度内)
2	8	権利擁護に関する制度の理解と活用において、高齢者虐待や権利擁護については職員に対し定期的な研修を実施している。成年後見制度については、施設長が中心になってご家族へ働きかけ、相談窓口の案内も行っている。成年後見制度の研修会は実施しておらず、スタッフへの広い理解が必要。	職員が成年後見制度について学び理解を深めることができるよう、研修の機会を設けていく。	高齢者虐待や権利擁護に合わせて成年後見制度についての勉強会を定期的に開催し、スタッフ全員が理解を深め利用者やご家族に対して相談に応じることができるようにする。	8ヶ月 (平成26年度内)
3	35	災害対策として年2回消防訓練を実施し地域の消防団に参加してもらい関係を築いている。地域、近隣の住民に対しても事業所への理解を深めてもらい、協力関係を構築したい。	地域住民との協力体制を整えるためには、運営推進会議や事業所で行うイベントへの参加を働きかけ、事業所の存在を地域の方々へ認知して頂けるようにする。	地域や近隣の方へは事業所のサロンを公開し、イベント(ノルディックウォーキング)を実施している。今年度は地域包括の活動(認知症の人を支えるご家族の集い/介護リフレッシュ教室)の場でイベント(健康体操)開催と、認知症キャラバンメイトを地域の方とスタッフの研修として実施予定。	8ヶ月 (平成26年度内)
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。